此ノ故ニ左様ノ迂誤アリトセラレ迂取スル場合ト雖モ一方ハ最ニ社規ニ照シ迂取金ヲ支給セス　一方ハ借金多額ナリシ為負債ノ為社ノ負債監督附ト結托シテ之ヲ支給スル横暴ト歪曲カ往々暴露サレ海上一般ノ憤慨ヲ買シテ社ノ信用ヲ失ヒ結局ノ実行ハ船員保護制度ノ前壊ヲ来シ終ニ莫大ブロシクノ大恐慌タルハ勿論ナルヲ以テ水火夫長ノ苦同ノ戰線ヲ以テ阻止スル所以ナリ

然コレ唯一ノ船内生活刮新ノ根源タルヲ確信スル迄然タル奥望ハ必然的ニ其ノ阻止ヲ許サヌ所ナリ大阪商船倉社ノ全面的躍進ノ基礎タルヲ得タル素因カ前記高利貸ブロシ連信者大阪海事部当局ヨリ給料面渡シヲ実行スル様示達アリ大阪商船倉社及諸社外船ハ直ケニ実行シツツアルカ　我カ郵船ニ於テハ其ノ当ニアル浦田指令氏カ現在ノ地位部ケ海務課長タルヲ得タル素因カ前記高利貸ブロシクノ利益ノ為メ根定タル以上海事当局ノ不達ヲ全然黙削シテ恰度タル也　畢サル所ナリ

然シ斯ル制度ハ軍ターシテ人類正義上モ許シテ置ケヌ由々シキ大問題ナリ

ホハ十ヲヌ　以上ノ如キ郵船会社ノ事実ハ国体ノ大義ニ照シ国際時局ノ重大ニ鑑ミ一日モ黙許シ得サル処　大方諸賢子ノ御賢察ヲ乞フモノナリ

（責任者　郵船明朗倉・日比和一）

別記

陳情書

方今皇國内外ノ状勢ハ遠ク八紘倉時代ノ危機　近ク明治維新ノ大危機モ尚ホ比スベカラザル未曾有ノ歴史的難関ニ直面セルモノナルヲ知ル。

即チ外ニハ国際的経済圧迫ト武力的脅威トヲ受ケ内ニハ外来邪思ノ思想及ビ物質至上功利主義ト相錯綜シテ普ク民心ニ浸潤シ物心両面ニ於ケル国民生活ノ不安動揺日ニ加ハリ今ヤ金ウ一髪千鈞ヲ繋クノ非常時勢ニ在リ憂国ノ士誰カ切歯扼腕奮然トシテ起ツヲ俟セザル者アランヤ

宜ベナル哉政府当局カ祭政一致ノ日本精神ヲ顯揚セントシテ国体明徴ノ徹底ヲ其ノ政綱ノ首位ニ挙ケ以テソノ禍因ヲ根絶シ度政ヲ一新シコノ難局ヲ打開セントセラルヽハ寔ニ時宜ニ適セルモノトシテ吾人ノ切ニ満腔ノ熱血ヲ捧ゲテ賛意ヲ表スル所ナリ

国家ノ現状既ニ斯クノ如シ　況ンヤ政府保護ノ下ニ在リテ其ノ業ヲ営ム者ニ於テヲヤ　須ラク全国民ニ先ヒテ皇室中心主義ヲ発揮シ以テ規範ヲ示サヾル可カラズ。

然ルニ之レニ反シ　我カ日本郵船株式会社ハ　近年　上皇室ニ對シ奉リ尊崇ノ念ニ欠クルモノアリトシテ屢々タル指摘ヲ受クル厚次ニ及ビ　今ヤ將ニ国会壇上ニ重大問題トシテ提議サレントスルニ至レルカ如キハ吾等社員一同恐懼措ク能ハザル所ニシテ實ニ断腸ニ堪ヘザルナリ。

抑モ吾カ社ノ傳統タルヤ　四面海ノ海運ノ清長カ平戸時代ニ論ゼズ常ニ国運ニ影響スルトコロ甚大ナリトノ自覚ノ下ニ我国重大国策ノ遂行ニ貢献セムコトヲ期シ　金海運界ノ動範タルベク最ニ国民意義ヲ解明ニシ之ヲ基調トシテソノ経営ニ當リツヽアリシハ全国民ノ有ユル共ニ認容シ来レ